

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 長崎県立対馬高等学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☒ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒817-0016
長崎県対馬市厳原町東里120

E-mail s70280@news.ed.jp

Website <http://www.news.ed.jp/tsushima-h/>

児童生徒数 男子 255 名 女子 292 名 合計 547 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☐ 伝統文化
- ☒ そのほか（ 地域活性化 ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

(I) 学校行事等

ア 日韓市民ビーチクリーンアップ

5月21日(土)、22日(日)の2日間、対馬市上県町佐護の海水浴場にて、生徒、教職員のべ88名が参加して清掃活動を行った。

この清掃活動には、対馬市民ボランティアや韓国の釜山外国語大学の学生らも参加しており、限られた時間の中、122m³の漂着ゴミを回収した。

韓国語や韓国の文化を学ぶ本校の「国際文化交流コース」の生徒を中心に、韓国の大学生と交流したり、一緒にゴミを運んだりする姿も見られた。



イ 宇部スタディーツアー

8月17日(水)～19日(金)の2泊3日で、本校生徒8名が、対馬市の協力により、山口県宇部市へのスタディーツアーに参加した。宇部市は、かつて工場からの煤じんによって環境が汚染されていたが、「宇部方式」という独自の 방법으로環境を改善し、今では環境に優しい街へと生まれ変わっている。

生徒たちは、宇部市の企業を訪問したり、宇部の大学生らと交流したりしながら、環境問題などについて学び、考えることができた。



ウ 島おこし実践塾

8月18日(木)～21日(日)の3泊4日で、本校生徒6名が、島おこし実践塾に参加した。

島おこし実践塾とは、対馬市が主催する地域活性化に向けた短期合宿で、過疎化が進む地区で民泊しながら、地域の方々や島外の大学生らとともに

地域づくりの新しいアイデアや手法などを考えるという取り組みである。

各専門の方々からの講義、木庭作や田んぼの生き物調査などの体験、また、大学生や民泊先の方々との交流など、参加した生徒たちはとても貴重な時間を過ごすことができた。



エ 対馬学フォーラム2016

12月11日（日）に、対馬市が主催の、対馬学フォーラムに本校生徒7名が参加した。

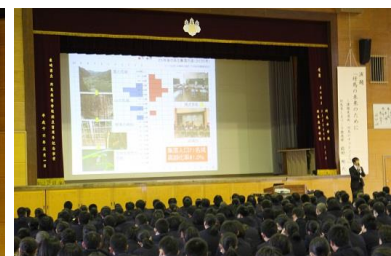
対馬学フォーラムとは、島内外の研究者や学生の、対馬の歴史や環境、生物などに関する研究成果をポスター形式で発表する大会であり、本年度は宇部スタディーツアーに参加した生徒たちが、フォーラムの参加者に対し報告を行った。



オ 地元対馬が抱える課題について考えるための講演会

12月22日（木）に、対馬市しまづくり推進部の前田剛氏を講師としてお招きし、対馬を取り巻く状況と、将来の主権者に期待することについて、お話をいただいた。

島外から対馬に移住し、対馬をより良くしようと努力を重ねる前田氏のお話から、対馬の魅力に気付く生徒も多かったように感じる。



(Ⅱ) コース・部活動等

ア 国際文化交流コース

《韓国的大学生や高校生との交流会》

○ボルキョ女子高校生との交流会（５月 本校にて）

○釜山外国語大学生とのビーチクリーンアップ

漂着ごみについてのディスカッション

（５月 上県町佐護・本校にて）

○釜山情報観光高校との交流会（７月 １年釜山研修にて）

○釜山韓国語研修（７・８月 釜山外国語大学にて）

○釜慶大学の生徒との交流会（７月 対馬市交流センターにて）

○アメリカの外交官との交流学習（９月 本校にて）

○釜山情報観光高校生徒との交流会（１０月 本校文化祭にて）



イ 商業経済部

【長崎県との「対馬新商品開発プロジェクト」について】

このプロジェクトは、長崎県対馬振興局に依頼され、平成２６年度９月から行っている特産品開発のための活動である。プロジェクトには、対馬高校、対馬振興局、対馬市、対馬観光物産協会、対馬市商工会、まちおこし団体、女性グループが参加し協働して商品開発にあたっている。

プロジェクトの中では、開発商品を島内外で販売する活動も行っている。島内でのイベント時、島外では博多阪急や長崎浜屋で販売を行っている。また、長崎県美術館では、夏のイベントにあわせて、開発したスイーツをカフェで提供していただいた。その際、長崎県の離島半島インターンシップ制度を利用し職業体験も生徒が行った。現在、新商品を開発し、販売できるよう準備を進めている。



【対馬新商品開発プロジェクトによる開発商品】

1. つしまぷーくれ（クレープ）

生徒による製造販売でショッピングセンターやイベント等に出店している。対馬のさつまいも（孝行芋）から作られる郷土食材「せん」を混ぜた、もちもちの生地が特徴である。

2. 対州クッキー

材料について、①対馬の名産「どんごしいたけ」を使用する、②対馬産のそば粉を使用する、という条件で、島内の複数の店舗にて販売中。なお、店舗によってクッキーの形状は異なっており、お客様にはそれぞれの違いを楽しめるものになっている。



【高校生レストラン】

6月12日（日）と11月3日（木）に、対馬市内の食堂を借りて、高校生レストランを開催した。

この日は、生徒たちが考案した、対馬の農作物を荒らすイノシシの肉を使ったカレーと、対馬の特産品であるしいたけ「どんこ」を用いたハンバーグを作り、販売した。

多くの地域の方々が来店され、楽しんでいただいた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）